

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	19291-1	事業名	希少水生生物保護増殖事業	部名	市民文化部(文化振興局)
	室名				室名	まちなみ文化財室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興			財	会計 一般会計
	基本施策	04:歴史文化の継承			務	款 教育費
	施策の方向	03:文化財の保存・活用			科	項 社会教育費
戦略プロジェクト				目	目 文化財保護費	

② 目的・概要	対象	市民
	目的	国の天然記念物に指定されているネコギギは、鈴鹿川水系で生息が確認されているが、環境の変化などにより絶滅が危惧されている。市内主要河川においてネコギギの生息調査及び河川環境調査を実施してネコギギの生息状況を明らかにし、その保護増殖を図る。

			24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	① 名称 地元説明会の回数	計画値			
		補足	実績値	2	1	1
		単位		回	回	回
	② 名称 ネコギギ保護指導委員会の開催回数	計画値				
		補足	実績値	1	1	1
		単位		回	回	回
成果	① 名称 ネコギギの保護に関する協議回数	計画値				
		補足	実績値	5	8	10
		単位		件	件	件

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					市内河川においてネコギギの生息確認調査及び河川環境調査を実施し、ネコギギの生息を確認した。また、調査結果を保護指導委員会に報告した。調査説明会、講演会を1回開催した。保護の徹底を図るため、ネコギギの生息を周知するとともに、河川周辺における工事等について、保護のため10件の事業について協議を実施した。			
	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	2,221	
		国庫支出金		2,075	2,044	一般職員人件費 ②	2,221	平均給与額×③
		県支出金		1,000	1,000	所要人員 ③	0.30	
		県支出金		155	155	臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤		
		その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源		920	889			
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
	総人件費		①	2,221				
	総コスト		⑥	4,265				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	市内河川において平成19年からネコギギの生息確認調査を実施してきたが、安楽川以外の河川では確認されなかった。住民への普及・啓発を図るため調査報告会・講演会を開催したことにより、住民のネコギギに対する意識が高まった。今後は、調査により把握された生息状況に基づき、緊急調査事業から保護増殖事業への展開が求められる。ネコギギの生息を周知することにより、河川周辺における工事・開発行為等において、保護のための協議を実施し、施行業者に対して適切な指導ができた。	総合判定	A
	【反省点・課題】	市内河川におけるネコギギの生息状況の把握は進んだことから、生息個所におけるモニタリング調査及び河川環境調査を継続しながら、保護増殖に向けた事業を地域と連携して進めていく必要がある。また、住民主体の活動を進めるため、地元住民を中心とした普及・啓発活動を継続する必要がある。河川周辺における工事・開発行為等に対して、今後も関係者との協議を行い、指導等を充実していく必要がある。	順調に進んだ	

⑤ 事業の評価	【改善の方向性】	保護増殖に向けて具体的な事業計画案を提示し、委員会等において具体的な増殖計画を立案し実施する。生息確認調査、河川環境調査は河川を限定して継続実施し、保護増殖のための基礎資料の充実を図る。また、地域住民に対しては、説明会や啓発活動により、希少水生生物に対する関心を高める。河川周辺における工事・開発行為等に対する指導等を徹底する。
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切